

平新報

発行日 五日発行
編集者 山野邊庄吉
印刷所 平新報社
発行所 平新報社
電話 二四〇
マルトモ 運具店
マルトモ 食店
マルトモ 電話 二四〇

磐中同窓會例會

八月拾日午後一時より

母校に於て役員改選も行はれる

磐城中学校同窓會は例年の△第一回(明治卅四年八月)如く八月拾日午後一時より母校に於て例會を催す事になつて居るが、本年は會則に依つて役員改選が行はれる筈だが時節多分現會長關内正一氏再選重任となり幹事は出征者もあり多少の動きはあるであらう。因みに毎年例會終つてから午後七時より懇親會が行はれて居たが、本年は茶話會の程度に止める模様である。

磐城中学校卒業生を以つてなる同窓會の模様を見るに本年三月第三十八回迄の卒業生總人員四千二百二十名のうち死亡會員約四百二十名にして三千七百八十名の會員があつて毎年八月十日午後一時より母校に於て例會を終了後懇親會を催はし母校及び會員に事件出來事や其他にはそれ〳〵適宜の處置をなし、新年宴は一月三日夜開催、相互の親睦を計つて居る。現在役員任期は二ヶ年であるが、今代々の役員を調ふるに左の如くである。

△第九回(四十二年)
會長 山崎宣吉、副會長 諸橋嘉吉、梅原幸助

△第十回(四十三年)
會長 山崎宣吉、副會長 田目春松、幹事 渡邊保徳、久野二郎、安島久

△第十一回(四十四年)
會長 山崎宣吉、副會長 田目春松、幹事 渡邊保徳、新宮健雄、柴田徳二

△第十二回(四十五年)
會長 山崎宣吉、副會長 田目春松、幹事 渡邊保徳、新宮健雄、柴田徳二

△第十三回(四十六年)
會長 山崎宣吉、副會長 田目春松、幹事 渡邊保徳、新宮健雄、柴田徳二

△第十四回(四十七年)
會長 山崎宣吉、副會長 田目春松、幹事 渡邊保徳、新宮健雄、柴田徳二

△第十五回(四十八年)
會長 山崎宣吉、副會長 田目春松、幹事 渡邊保徳、新宮健雄、柴田徳二

△第十六回(四十九年)
會長 山崎宣吉、副會長 田目春松、幹事 渡邊保徳、新宮健雄、柴田徳二

△第十七回(五十年)
會長 山崎宣吉、副會長 田目春松、幹事 渡邊保徳、新宮健雄、柴田徳二

△第十八回(五十一年)
會長 山崎宣吉、副會長 田目春松、幹事 渡邊保徳、新宮健雄、柴田徳二

△第十九回(五十二年)
會長 山崎宣吉、副會長 田目春松、幹事 渡邊保徳、新宮健雄、柴田徳二

暑中御伺

盤磨、山野邊庄吉、幹事 井茂
松本榮一、野崎嘉八郎、前評議員は従前通りの山崎上田耕作、木村守江、長清三、清水廣政、阿部政右衛門、山崎忠兵衛、新田目春松、諸橋久太郎、△昭和九年八月十日改選 會長 關内正一、副會長 諸橋久太郎、柴田橋元三郎、幹事 山崎忠兵衛、井上貞治郎、柴田松本榮一、野崎嘉八郎、吉田金作の拾壹名である。(常任幹事 井茂、上田耕作、因みに昭和七年八月十日の山崎忠兵衛(會計))

△昭和十一年八月十日改選 會長 關内正一、副會長 野崎嘉八郎、柴田橋元三郎、幹事 松本榮一、野崎嘉八郎、吉田金作の拾壹名である。(常任幹事 井茂、上田耕作、因みに昭和七年八月十日の山崎忠兵衛(會計))

△昭和十一年八月十日改選 會長 關内正一、副會長 野崎嘉八郎、柴田橋元三郎、幹事 松本榮一、野崎嘉八郎、吉田金作の拾壹名である。(常任幹事 井茂、上田耕作、因みに昭和七年八月十日の山崎忠兵衛(會計))

植竹翁の銅像は止めて

紀念館と圖書室に移つる

磐中同窓會の謝恩事業

磐中初代校長植竹源太郎回寄贈になる故桐谷文平校氏逝世して早や拾三年、師の遺書が桐谷文平氏に渡りて師の銅像を母校に建てる事となり圖書室となり立する計劃たる事は屢報のくだらなき偶像式謝恩方よりであるが、時節柄右はり、故人たる植竹、桐谷先取止め、その代りに母校に生各位も黄泉にてさそ快心重要書類を保管する倉庫が事として喜ばれる事だらうないので植竹紀念館を建立と師等の歎ひをうけた識者等の計劃に變更して来た、は衷心共鳴し時節柄ではあるが該紀念館中には植竹氏の象が應分の負擔をすることを懸念し、そのうちには今氣込んで居る。

暑中御伺

貴族院議員 金成通
玉川院後會長 宮内久枝
平市中町 山田盤磨

原齒科醫院

平市 原齒科醫院

秋山時計店

平市 秋山時計店

御料理 玉よし

平市 御料理 玉よし

磐崎信用組合

常磐線湯本驛下車 磐崎信用組合

白鳥鑛泉組合

小名濱町助役 白鳥鑛泉組合

二本松電氣株式會社

小名濱町 二本松電氣株式會社

小名濱支店

小名濱町 小名濱支店

豐間漁業組合

豐間村 豐間漁業組合

坂本精米所

平市南町 坂本精米所

馬目誠

平市南町 馬目誠

湯本温泉旅館

湯本 湯本温泉旅館

日曹小田鑛業所

好間村 日曹小田鑛業所

高久病院

平市田町 高久病院

戰地より銃後の 磐中同窓各位に

よろしく

先般は御重なる御慰問の因若にも餘裕をもつて忍... 御言葉と武運長久の御祈符が得られます事... 各地に轉戦して居るご私共は観念して毎日戦... ましたので入手がおくれまされど私共は観念して毎日戦... ましたので入手がおくれまされど私共は観念して毎日戦... ましたので入手がおくれまされど私共は観念して毎日戦...

安藤公銅像除幕式に於ける祝辭の一つ

拾七年前の文章

(高久村から) かも寒稽古平市松ヶ岡公園第一臺上に妻文吾氏の二人のみであつ... まで出席して往時の舊平藩城主安藤對馬守の銅像の事である... 苦勞や先輩から例の概演像建立してより拾七年、當... 説に依つて銀像させられた時除幕式の模様は詳でない... 燈勇の期が泌々有難く、その際祝辭を讀みしは... 感じられます。そして今日東村の某氏と左に掲げる新

今此處に安藤公銅像成... 行セラルル以テ是レ江... 同僚ノ致ストコロニシ... 生彩奕々タル此ノ銅像ハ... 長ヘニ當年ノ意氣ヲ表シ... シ以テ不言ノ教訓タル可... キヤ必セリ爾而我平町民... ノ信愛セル戰友ノ希望ニ... 巋然トシテ發立シテ義俠... ル町民ニ圍繞セラレ其... 平ヲ千載ニ傳ヘントス是... レ特ニ諸君無限ノ同情ニ... 出デタルモノニシテ而シ... テ忠勇義烈ノ銅像タルヤ... 公ノ面目何物カ之ニ加ヘ... 相顧ミテ只感涙アルノミ... ナルベシ嗚呼故安藤信正... 公ノ如キニ豈不朽ノ功ヲ... 立テタルニテ大志ヲ卓... 卓ニ交ワリテ大志ヲ結ビ... 尊王ノ大義ヲ唱ヘ維新ノ... 時運ニ際シテ復古ノ鴻... 業ヲ翼贊シ顯要ノ職ニ擧... グラレテ獻替スル所少ナ... カラズ中道ヲ文網ニ嬰シ... ルト雖モ愛國ノ士會テ... 少シモ濼ヲ遂ニ再ビ披... 擲ノ思ヲ蒙ル時ニ條約改... 正ノ議正ニ成ラントシテ... 敗ルルコト一再ナラズ公... ント欲シ心カシク傾注シテ... 以テ其事ニ當リ竟ニ能ク... 之ヲ成セリ後幾ナラズン... テ安藤閣下古クシテ時諸侯... ニ合達ナシテ古クシテ時諸侯... フ潰シ大砲ヲ鑄造シ以テ... 海防ヲ殿重ニシメタリ... 千時水戸烈公カ國內寺院... ノ梵鐘ヲ鑄テ大砲ヲ製造... セルモ其ノ基因ハ安藤閣... 老ノ令達ニヨリト云フ時... 城中學校教諭に榮轉したる

文吾翁 最近の漢詩

人間萬事定不定 身似明星西亦東 七十五年如一夢

石城郡自治要勢

木田藤次郎氏編著

醒來莊內破曉中 男子生涯幾與忠 勿求榮利幾誠衷 請看今古英雄跡 不念少康成大功 車駕親征 皇軍向處滿歡聲 各國可知士氣振 出戰軍人不顧死 八百有萬見精神 逸題 殺氣橫空白日高 支軍烏合我能勝 亦知揚子江頭水 百萬王師齊洗刀 七十五年秋已久 瀟々月色向人明 莫言那理皇軍事 耳熱松杉風外塵

暑中御伺

- 石城郡銀行組合 福島縣町村長會石城支會 平市 内各學校長會 平藝妓屋組合 平運輸株式會社 大日本電力平營業所 平庶民金庫 堀江工業株式會社 鹽山崎合名會社 磐城炭礦株式會社 白水炭礦會 古河石炭礦業株式會社 好間礦業所 入山探炭株式會社 坑務所 湯本信用無盡株式會社 湯本藝妓屋組合

過去・現在・未來

どうなり! どうなるか?

▲湯本町長、助役

湯本町長石川徳壽氏長逝後
の町長は助役仲里顯太郎
氏昇格、同助役は町議矢吹
庄司氏就任した。

▲玉川村

玉川村助役小泉宗雄氏病氣
解任後の助役は村議長瀨藤
義氏、同収入役波木井玄吉
氏就任。後任は前村議高橋儀平
氏就任。

▲平警署署長

八巻平警署署長がサーベル
を捨て、いっせ新築成る平
保健所事務局長に納り、縣刑
事課長の警視本田勇治郎氏
が平警署署長たる事はい
だ平警署長の姓名を知らぬ
大衆がある様だから詫言
て置く。

▲玉川村巡査

玉川村巡査駐在所は全園に
なき、警備物立の命令を
食つてから欠員となつて居
たが、宿舎を移転改造が
立派に竣功したから約東通
り其筋では農村向きの巡査
を駐在して呉れるだらうと
同村民は鶴首して待つて居
る。

▲平藝妓屋組合

平藝妓屋組合長鈴木重助氏
長逝後の組合長は國府田直
真氏推され、行事に會計は
仲家鈴木武雄、山形屋白土
善伯、吉野家精野延由。

▲吉田眼科病院

平市附置町吉田眼科病院長
吉田久雄氏は歩行も困難な
病体ながら某方に勇躍出發
したが〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
村、平市、福島縣等へ都合
二百圓献金せり。

▲平庶民金庫

平庶民金庫理事鈴木重助氏
更なる角その結果が問題視さ
れて居る。

玉川村小學校兒童、 鏡後會へ寄附

▲村鏡後會寄附

玉川小學校兒童
村鏡後會
上敷敷重
小松フツ外野田學友同女
渡邊リユ外十四名 三三〇
山野邊マコ外三名 〇五〇
山野邊マコ外三名 〇五〇
箱崎茂外五名 〇〇〇
野田庄太郎外七名 二七〇
西丸ミネ外九名 三四〇
竹原俊子外一六名 三三〇
遠藤ミツ子外一七名 二七〇
野田男學友同
小松清左内門 一三〇
遠藤泰弘 〇五〇
鈴木貞三郎 〇五〇
村上文枝外十一名 二〇〇
若松公平外二名 二〇〇
高野二年 一五〇
小松忠義 〇三〇
遠藤安正 〇三〇
玉川小學校兒童一同 一〇〇
高女出身である。

▲袋中上人誕生の地碑開眼式

袋中上人三百年遠誕誕生の
地碑開眼式は去る七月二十
九日午前十時より上人が習
學せる磐崎村西郷能満寺に
於て執行された。當日は京
都檀王法林寺住職信々原上
入外六名、地方よりは能満
寺僧侶及同上人誕生の地
家と稱する、同村岩ヶ岡御
代茂氏一家の人々臨席、
如來寺住職皆河氏及び信々
原氏の袋中上人に就いての
説明、同派浄土宗教務部長
江藤氏の講演あり同日は大
字青年のジャンガナ念佛の
供養等あつて頗る意義深き
ものであつた。

▲若人の幸慶

佐藤家の慶事
平市佐藤要一郎氏長子幾重
司氏は平消防小頭阿部治作
氏夫妻の嫡男にて平市三森
長次郎氏二女ヨキさんと七
一、五月二十四日華婚の典を
挙げて喜ぶかみ知れぬ。

▲森合家の芽出度

植田町商會森合家芳男氏令
弟英氏は町大年千秋氏令
妻の娘にて那珂郡村松村
宮内衛兵令妹みよさんと
結婚、六月四日同町山田屋
旅館にて披露の宴を張つた
因みに新郎は平商出身、平
市關内油店庶務會計主任と
して眞面目な青年である。

▲長瀬家の訃

平市二丁目長瀬延太郎氏令
弟順平君は癌石効なく六月
九日葬送された。因みに
君は磐中三十三回出身で東
京帝大法學部に入り將來を
望まれて居つた秀才であつ
た。行年二十四歳。

鏡中二八會

十六會改名か
磐中同窓會各同期生を以て
つて成る會名に各々あるが
うち知悉の分を記せば
①山花會 (さんざんか)
②わい (九回卒業)
③三三 (九回卒業)
④士會 (さむらい) 以下く
を略す(第十一回卒業)
⑤十七時會 (どなみ)
⑥二十八會 (にちじち)
⑦(二十八回)
⑧(二十九回)
⑨(三十回)
⑩(三十一回)
⑪(三十二回)
⑫(三十三回)
⑬(三十四回)
⑭(三十五回)
⑮(三十六回)
⑯(三十七回)
⑰(三十八回)
⑱(三十九回)
⑲(四十回)
⑳(四十一回)
㉑(四十二回)
㉒(四十三回)
㉓(四十四回)
㉔(四十五回)
㉕(四十六回)
㉖(四十七回)
㉗(四十八回)
㉘(四十九回)
㉙(五十回)

平商生徒の 勤勞奉仕

平商校では四、五年級生徒
一同、同校新築敷地埋立工
事に去る一日より五日間勤
勞奉仕をなした。

過去・現在・未來

だしも、道路や堤防をけつ
る! 實に言語同断、かくも
の如きは反省すまじく、ま
たそれで世の範とならぬ
ばならぬ指導階級に在るも
のであるからこまつたもの
だ、咄!

平市中の生活

國民精神總動員! 生活改
善の絶叫はどほど越して即
行に入る、筆者が屢々提唱
する年中行事の舊暦を絶排
して太陽暦にすべし、詳細
事はいづれ統計上實行可能
性の方を發表建白する心算
であるが、先づ、迎新年は
陽一月一日、盆は陽曆八月
十五日に祭禮、かくなれば
動である、ラヂオ体操と思
つたらよからう、ジャンガ
ラ大いによし、佛の供養に
なる、精神作用になる、秋!
非常時! 元氣を出せ!

伊勢屋商店 平市四丁目	大黒屋勝次商店 平市三丁目	高島屋洋服店 諸根正治 平市二丁目【電話三八六番】	三井自動車部 平市二丁目	谷口 平市二丁目	桐谷文雄 平市胡麻澤	橋本芳太郎 平市杉平	山崎宣吉 平市胡麻澤	酒井清 平市會議員 課前往吉原支店	柏原真吾 平庶民金融理事	諸橋敬一郎 平庶民金融理事	諸橋元三郎 石城樂石會長	關内正一 同聲中學校 同聲會校長	諸橋久太郎 平市農會長	暑中御伺
鈴木康平 湯本町	高濱兼義 湯本町	比佐昌平 湯本町	黒木房雄 衆議院議員	牛なべ石川亭 東京鐵道局經理課 機用品庫長 平市【電話四三番】	織田材木商店 平市胡麻澤	山田麻袋工場 内郷村	平電氣鑄鋼所 平市堂ノ前	西山惠一 合資會社平製作所 平市堂ノ前	野内商會 電話一〇番	松本榮一商店 平市十五丁目	吉田定太郎商店 平市新川町	志賀與市 平市五丁目 齒科醫	關内藥局 平市四丁目	ホシシ藥舖 平市三丁目 掛チエーレストア平支部
森合芳男 植田町	小野保 植田町	綠川秀男 法學士 植田町	秋山市造 植田町會議員	下山田賢造 植田町	馬上守一 植田郵便局長	坂本龜太郎 植田消防組頭	鷺清昇 石城郡農會長	古川傳一 植田町	星村一 衆議院議員	四ッ谷酒店 湯本町	鯨岡實 湯本郵便局長	鯨岡潔 湯本町	比佐榮一 湯本町 岳東商會石炭部	江尻功造 湯本信用無盡會社
高萩コウ 高野鐵泉入乃湯	小野藥局 泉野前	鈴木一男 鹿島消防組頭	渡邊一男 鹿島消防組頭	小瀧鏡泉 玉川村助役	長瀬彰義 玉川村助役	駒木根忠三 玉川村信用組合長	石井醫院 小名濱町	會田醫院 小名濱町	高木忠治 小名濱町	飯塚榮一郎 小名濱町	小野晋平 縣會議員	赤津欣之助 勿來町	小松章 縣會議員 勿來町	御料理末よし 植田町